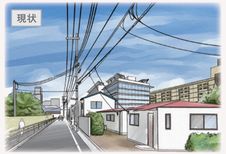
事業効果 ③
無電柱化や道路の拡幅により 防災機能や都市景観の向上を図ります

現状の問題



（都）西九条佐保線や（都）大安寺柏木線の事業区間の沿道には電柱が多く、地震時の電柱倒壊による道路交通やライフライン（電力・通信等）の寸断のリスクが大きい状況です。

また、電柱が林立しており電線も張り巡らされていることから、都市景観の阻害要因となっています。

無電柱化や道路の拡幅による防災機能と都市景観の向上

無電柱化や道路拡幅により、電柱の倒壊による「道路の通行止め」や「ライフライン停止」のリスクが低減され、防災機能が向上します。

また、電柱が無くなることで、世界遺産を多数有する奈良市中心市街地へのメインゲートに相応しい都市景観の向上を図ります。

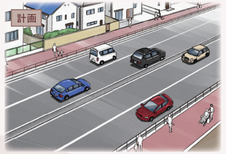
事業効果 ④
適切な歩道幅員の確保により 安全で快適な歩行空間が実現します

現状の問題

西九条佐保線（奈良市道）は現道幅員が狭く、平成27年からの4年間で重傷事故が3件、軽傷事故が20件発生しており、交通事故のリスクが高くなっています。

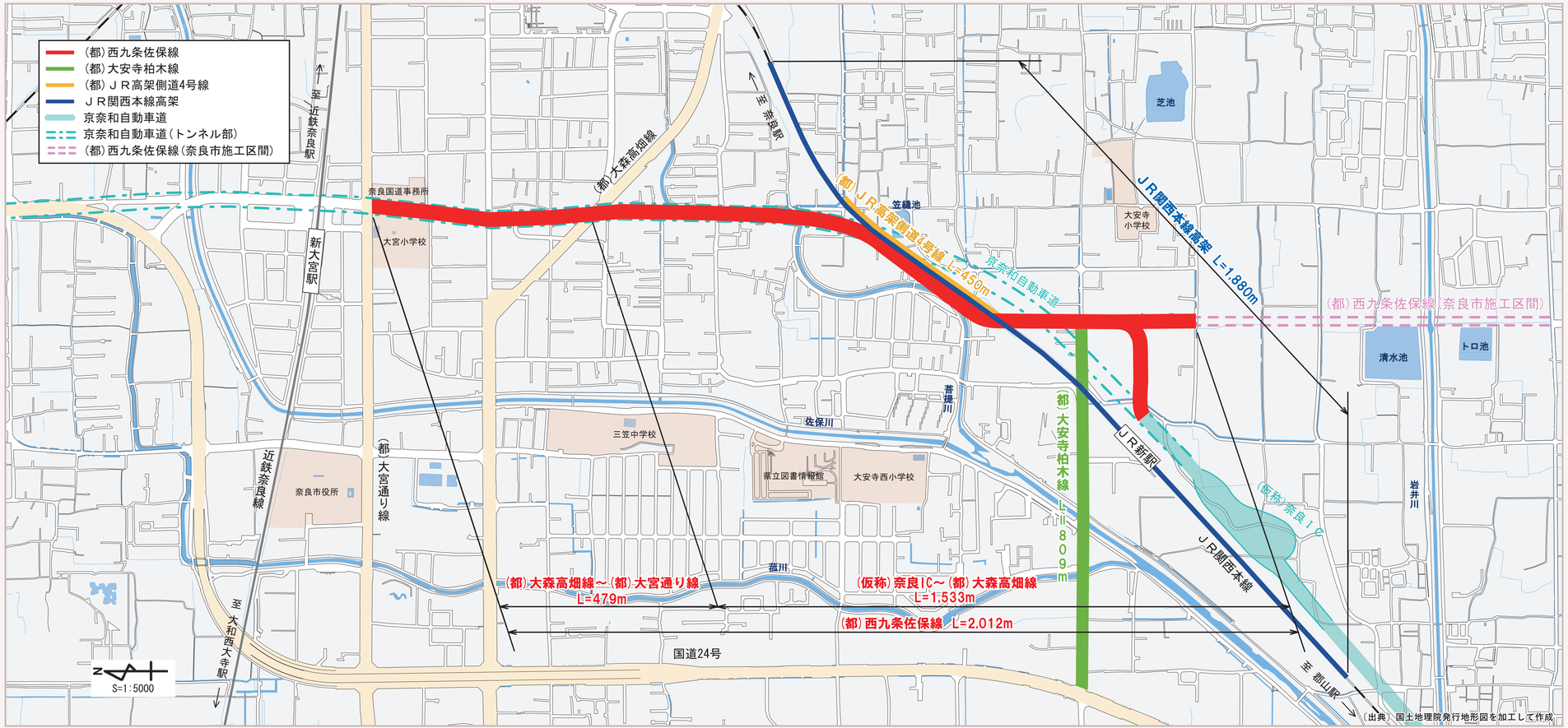
また、沿道は住宅や商業施設が立地している点や通学路に指定されていることから、安全面の問題が大きい状況です。

安全で快適な歩行空間の実現



（都）西九条佐保線の整備により歩行者と自動車が分離され安全・安心な歩行空間が確保されます。

また、歩道幅員が確保されることで、歩行者や自転車等の接触による事故が減少し、車椅子利用者や高齢者も安心して通行できる快適な歩行空間が整備されます。



事業効果 ❶

道路整備とJR関西本線の高架化により奈良市中心市街地へのアクセス性が向上します

現状の問題

（都）西九条佐保線と並行する国道24号や県道木津横田線は朝夕の交通ラッシュ時を中心に、道路の混雑が日常的に発生しています。

また、行楽シーズンには観光客の増加により、朝夕の交通ラッシュ時以外の時間においても交通渋滞が発生しています。

一体的整備によるアクセス性の向上

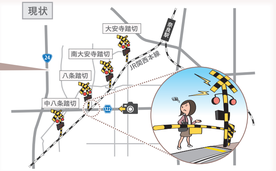
（都）西九条佐保線の整備及びJR関西本線の高架化の一体的整備により、（仮称）奈良ICから奈良市中心市街地や主要な観光地へのアクセス性が向上し、（仮称）奈良ICから奈良市中心市街地への所要時間は約12分短縮される見込みです。

（仮称）奈良IC～奈良市中心市街地

事業効果 ❷

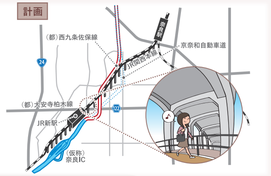
JR関西本線の高架化で地域分断の解消や移動の円滑化が期待されます

八条・大安寺周辺地区内の踏切は、交通事故の防止及び交通の円滑化を図る必要があります。



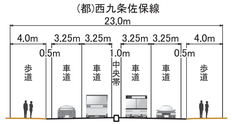
踏切除去による地域分断の解消や円滑な交通の実現

ＪＲ関西本線の高架化により4箇所（大安寺踏切、南大安寺踏切、八条踏切、中八条踏切）の踏切が除去されます。踏切の除去により、交通事故の危険性の低下や踏切の待ち時間解消に加え、地域分断の解消や地域内の移動の円滑化が期待されます。

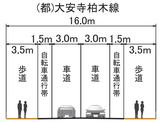


標準断面図とJR関西本線の高架化施工順序

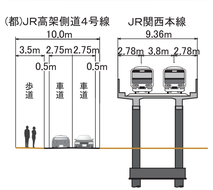
（都）西九条佐保線の標準断面図



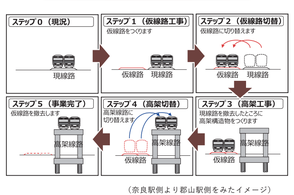
（都）大安寺柏木線の標準断面図



JR関西本線の標準断面図



JR関西本線高架化施工順序



（奈良駅側より郡山駅側をみたイメージ）

計画諸元

事業名	都市計画道路　西九条佐保線		都市計画道路 大安寺柏木線	都市計画道路 JR高架側道4号線	JR関西本線高架
事業区間	（都）大森高畑線 ～（都）大宮通り線	（仮称）奈良IC ～（都）大森高畑線	大安寺3丁目 ～柏木町	大安寺7丁目 ～大安寺3丁目	大森町 ～八条4丁目
事業延長	479m	1,533m	809m	450m	1,880m
道路の区分	第4種第1級	第4種第1級	第4種第2級	第4種第3級	―
設計速度	40km/h	40km/h	40km/h	30km/h	―
計画交通量	18,300台/日	22,100台/日	4,100台/日	―	―
車線数	4車線（片側2車線）	4車線（片側2車線）	2車線（片側1車線）	2車線（片側1車線）	―
計画幅員	23m	23m	16m～21m	10m	9m～11.92m
主な事業の経緯	H20.3　都市計画変更 H25.10　事業認可	H27.11　都市計画変更 H28.7　事業認可	H29.3　都市計画決定 H30.3　事業認可	H27.11　都市計画決定 H28.7　事業認可	H27.11　都市計画変更 H28.7　事業認可

工事期間中は何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

奈良県幹線街路整備事務所

〒630-8113
奈良市法蓮町757（奈良県奈良総合庁舎4階）

【TEL】0742-20-4591【FAX】0742-27-7112
【H P】https://www.pref.nara.jp/33848.htm

※画像はあくまでもイメージです。実際とは異なる場合がございます。

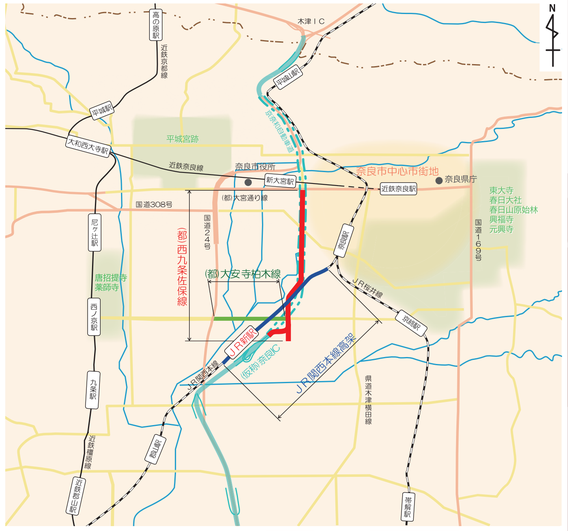
R5.4.作成

（都）西九条佐保線の整備
JR関西本線の高架化

奈良県
Nara Prefecture

事業概要

京奈和自動車道の（仮称）奈良ICに直結するアクセス道路であり、まちづくりの骨格となる（都）西九条佐保線や（都）大安寺柏木線の整備、JR関西本線高架化、JR新駅の設置を推進します。

道路整備及び鉄道高架化により、奈良市中心市街地へのアクセス性の向上や地域分断の解消、道路整備に合わせた無電柱化による防災機能の向上、安全で快適な歩行空間の実現を目指します。

また、（仮称）奈良IC周辺では、（仮称）奈良ICとJR新駅を核とした地域資源（歴史的観光資源や図書館等の公共施設）を活用し、景観にも配慮した魅力あるまちづくりに取り組むとともに、道路と鉄道の一体的な整備により周遊性と利便性の向上を図ります。